

心の栄養剤 No.82 「さよならは言わないよ、その代わりに・・・」

大川小学校5年生の詩「大好きだったみんな そして先生へ」

ぼくたちは毎日楽しく学校に通っています。みんなどうしていますか？言いたいことがいっぱいありすぎて、何から伝えていいかわからない。それが本当の気持ち。

でも一番伝えたい言葉は「ありがとう」「ありがとう」

先生やみんなと過ごした時間を今も思い出す。休み時間にいっしょに遊んだこと、みんなと一緒に食べた給食、漫画やゲーム、こわい話で盛り上がったこと。

一緒にプレーしたバスケットボール、みんなみんな大切な時間。
分からない時に優しく教えてくれた。
苦手な勉強だってがんばることができた。困ったときには助けてくれた。

みんなの「がんばれ」の声が今も聞こえるよ。笑顔いっぱい、いつも優しくしてくれた先生。
迷惑もいっぱいかけてしまっておめんなさい。
先生とみんながいてくれたからどんなことでも楽しかった。
大好きだよ「ありがとう」「ありがとう」

あの日からいろんなことが変わってしまったけど
いつもみんなと一緒にいることは変わらないよ

先生もみんなも一緒にこの教室にいるんだって思っているよ
花山合宿の時にはみんなの写真を持って行ったよ
先生もみんなも きっと来てくれていると思って
がんばったよ

運動会だって 今日の学習発表会だって きっと
みんながそばにいてくれると思っているよ

「会いたい」「会いたい」

先生に会いたい ぼくたちの大事な大事な友達に
会いたい
会って前と同じように一緒に遊びたい
同じような生活を送りたい

みんなのことを思うと まだまだ胸が痛むけど
ずっとずっと忘れないよ
何があってもずっとずっと友達だからね だから
さよならは言わないよ その代わりに

「ありがとう」「ありがとう」 ずっと一緒だよ

宮城県石巻市立大川小の 児童、教職員数

	震災当時				現在	
	計	死亡	不明	無事		
1年	14	5	0	9	1年	4
2年	20	15	2	3	2年	5
3年	20	17	0	3	3年	3
4年	18	12	1	5	4年	0
5年	15	6	0	9	5年	4
6年	21	15	1	5	6年	7
計	108	70	4	34	計	23
教職員	13	9	1	3	教職員	15

※市教育委員会調べ

先月11日であの悪夢のような東日本大震災より一年がたったのですが、被災地の傷跡も、多くの被災者の苦しみも、まだまだ続いているというのが現状です！！

そんな中での多くの死者・行方不明者が出た宮城県石巻市大川小学校の追悼式で朗読された“詩”に感動し
今月の「心の栄養剤」に記載させていただきました。

詩の中でも何度も出てくる「ありがとう」の言葉が胸にきます。

いかに私達は日常の何気ない出来事～人とのかわり～食べる事～動く事～家族～地域～そして健康に対し
「当たり前」と思って過ごしているか・・・その「当たり前」を「有難い」と思い、感謝して生きていく事こそ、
この大震災の教訓にしなければと心より思います！

P.S.

昔より辞書にもなく、もちろんうちの店にもありませんが「時間薬（ときぐすり）」という言葉があります
時間という「薬」がいつか心の傷を癒してくれるという意味なのですが・・・

人によって、状況によって違い、そう早くは効いてくれないとは思いますが、少しでも早く効いてくれる日を心より願いつつ

「微力ではあっても決して無力ではない」

という強い気持ちで、私なりに今回の被災者の方に寄り添い続けていこうと決めています！

